

# 副業従事者の長期的推移と 副業従事の原因

～ 就業構造基本調査とワーキングパーソン調査から～

藤 本 隆 史

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

アシスタントフェロー

# 就業構造基本調査

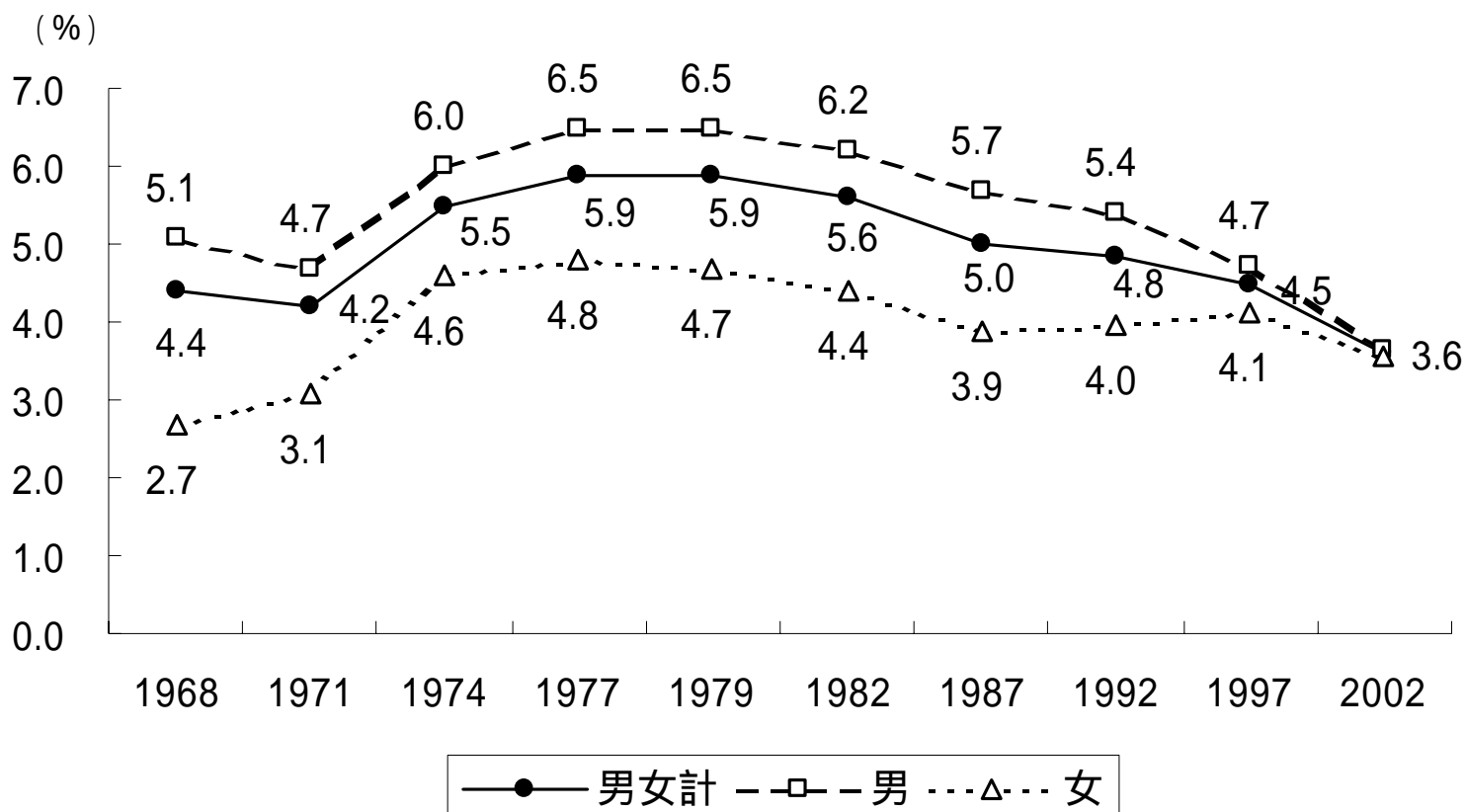
## (総務省統計局)

- 調査対象：2002年(平成14年)調査は、全国(約29,000調査区) 約44万世帯の15歳以上の世帯員(5年ごとに実施)
- 調査の目的：就業・不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造や就業異動の実態、就業に関する希望などについての基礎資料を得ること
- 副業の定義：主な仕事以外についている仕事

Q：「あなたはおもな仕事のほかに別の仕事もしていますか」

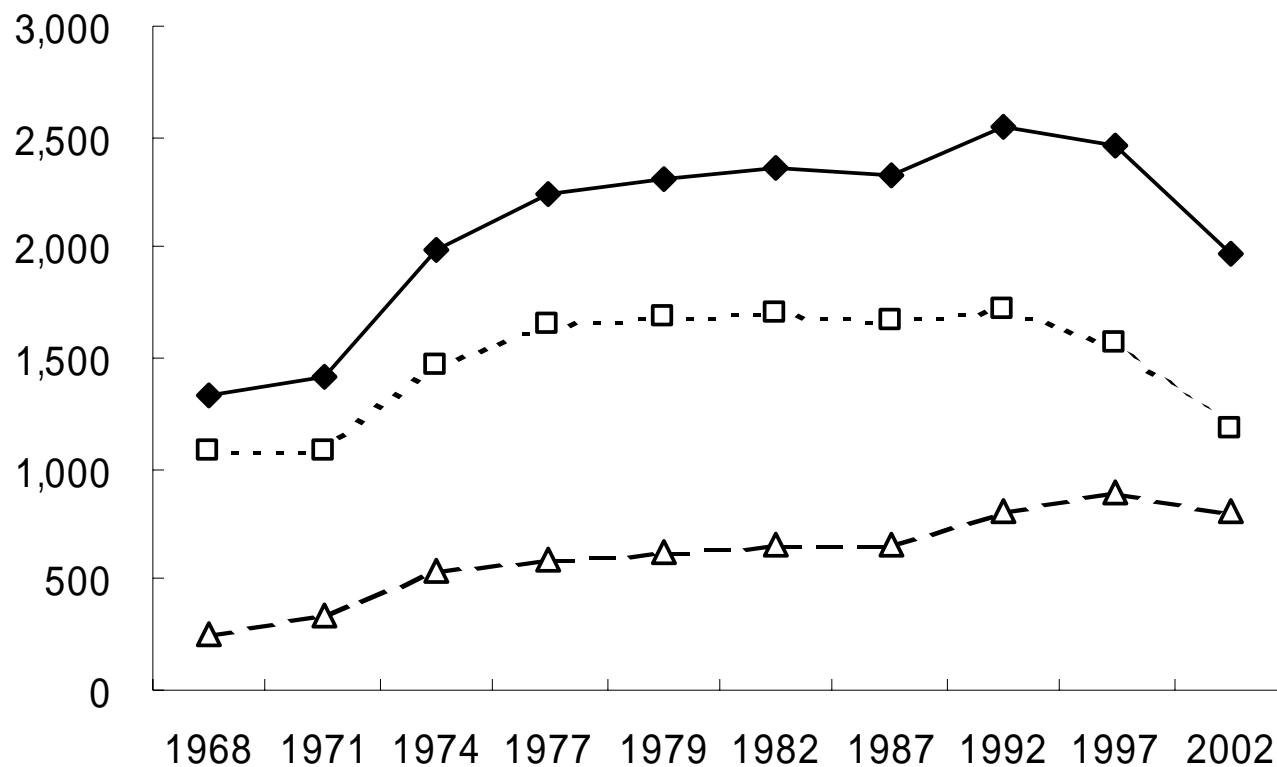
# 副業を持っている雇用者の割合

第1図 副業を持っている雇用者の割合



# 副業を持っている雇用者の数

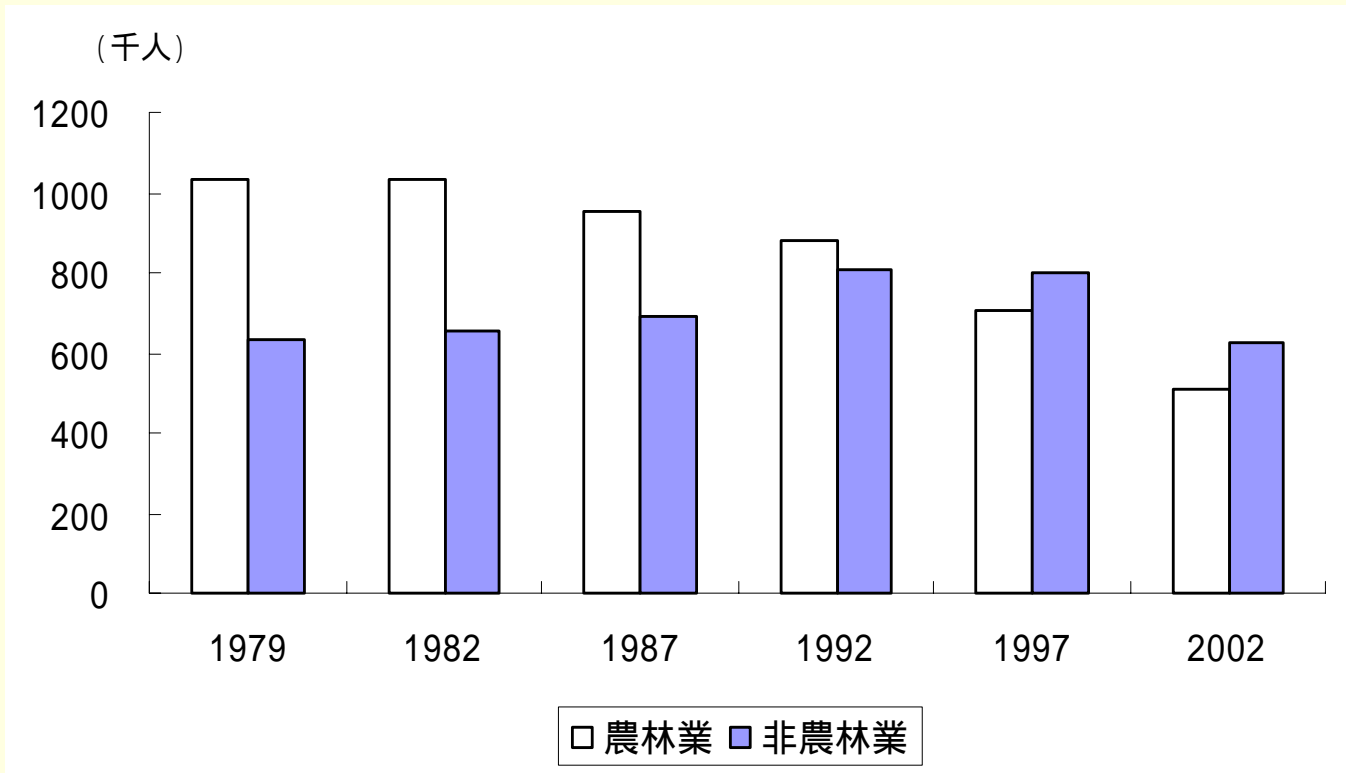
## 第2図 副業を持っている雇用者の数



—◆— 男女計    - - - □ - - - 男性    - - △ - - 女性

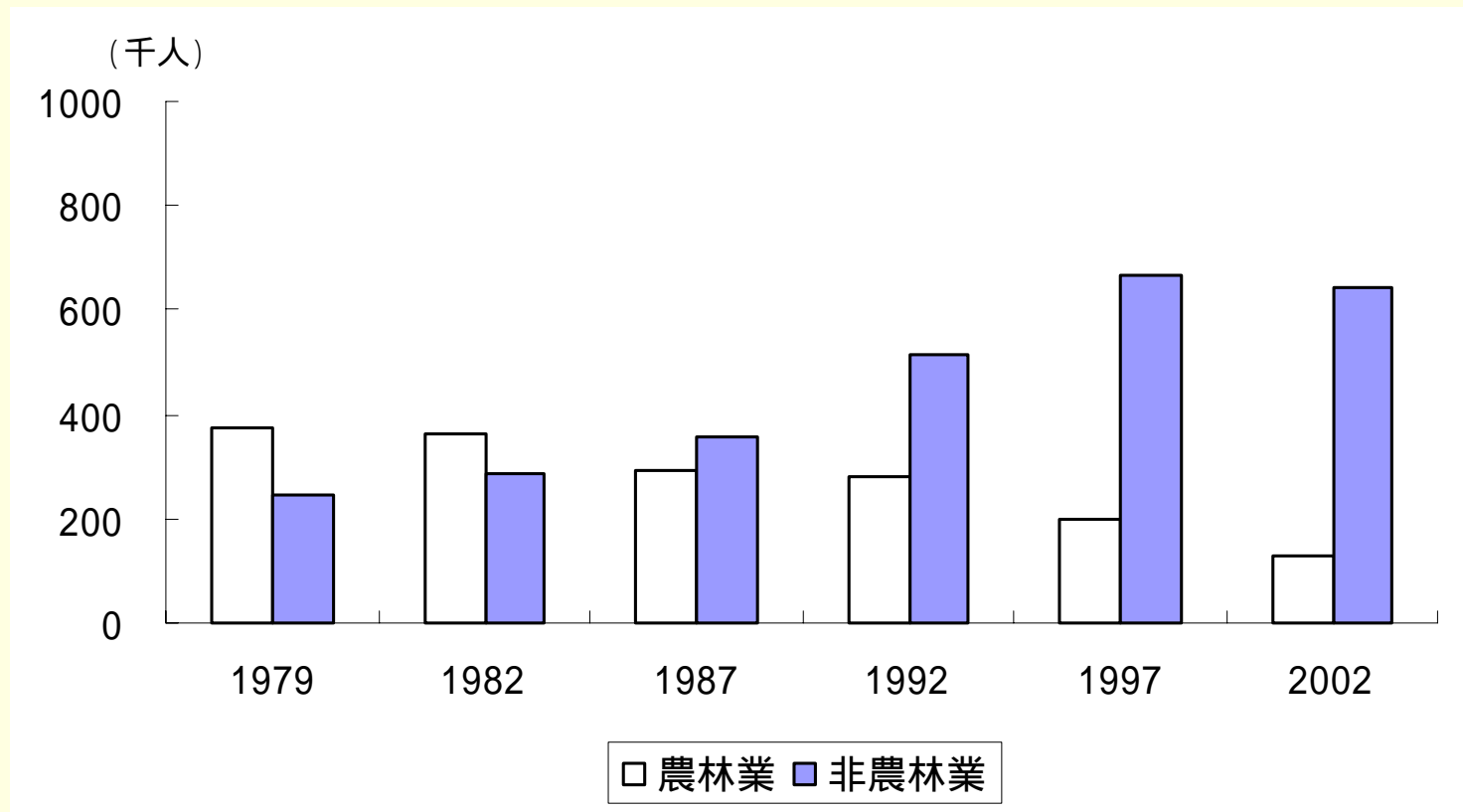
# 副業の農林・非農林業別 副業を持っている雇用者数（男）

第3図 副業の農林・非農林業別 副業を持っている雇用者数(男)



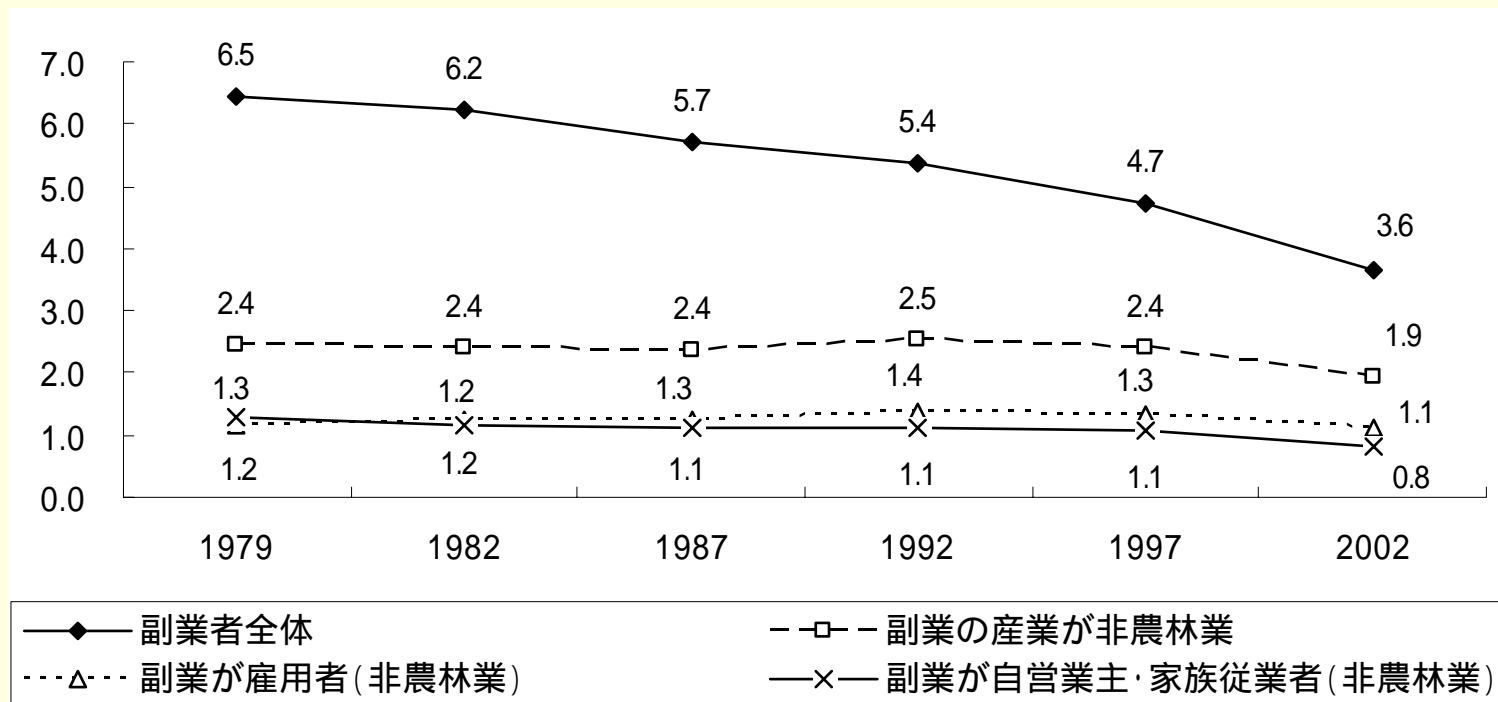
# 副業の農林・非農林業別 副業を持っている雇用者数（女）

第4図 副業の農林・非農林業別 副業を持っている雇用者数(女)



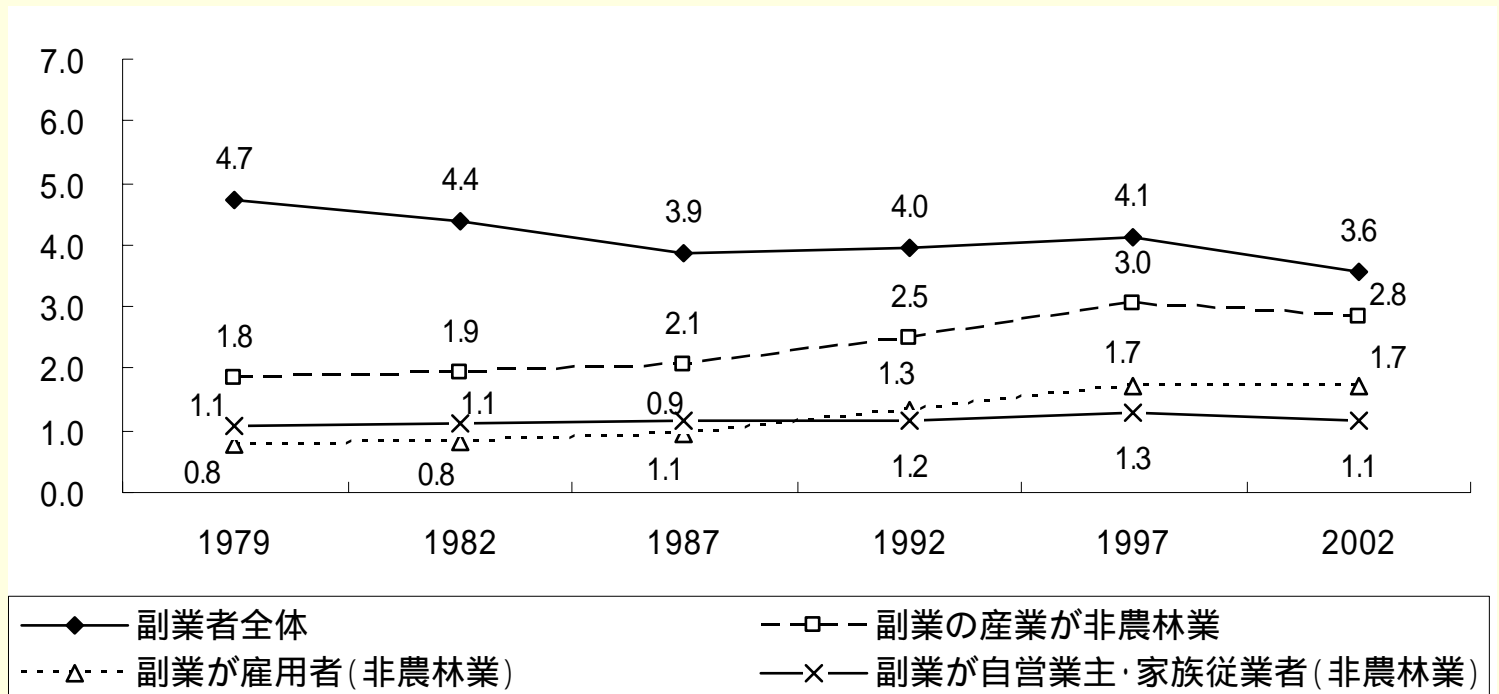
# 全雇用者に占める副業を持っている雇用者の割合（男）

第5図 全雇用者に占める副業を持っている雇用者の割合（男）



# 全雇用者に占める副業を持っている雇用者の割合（女）

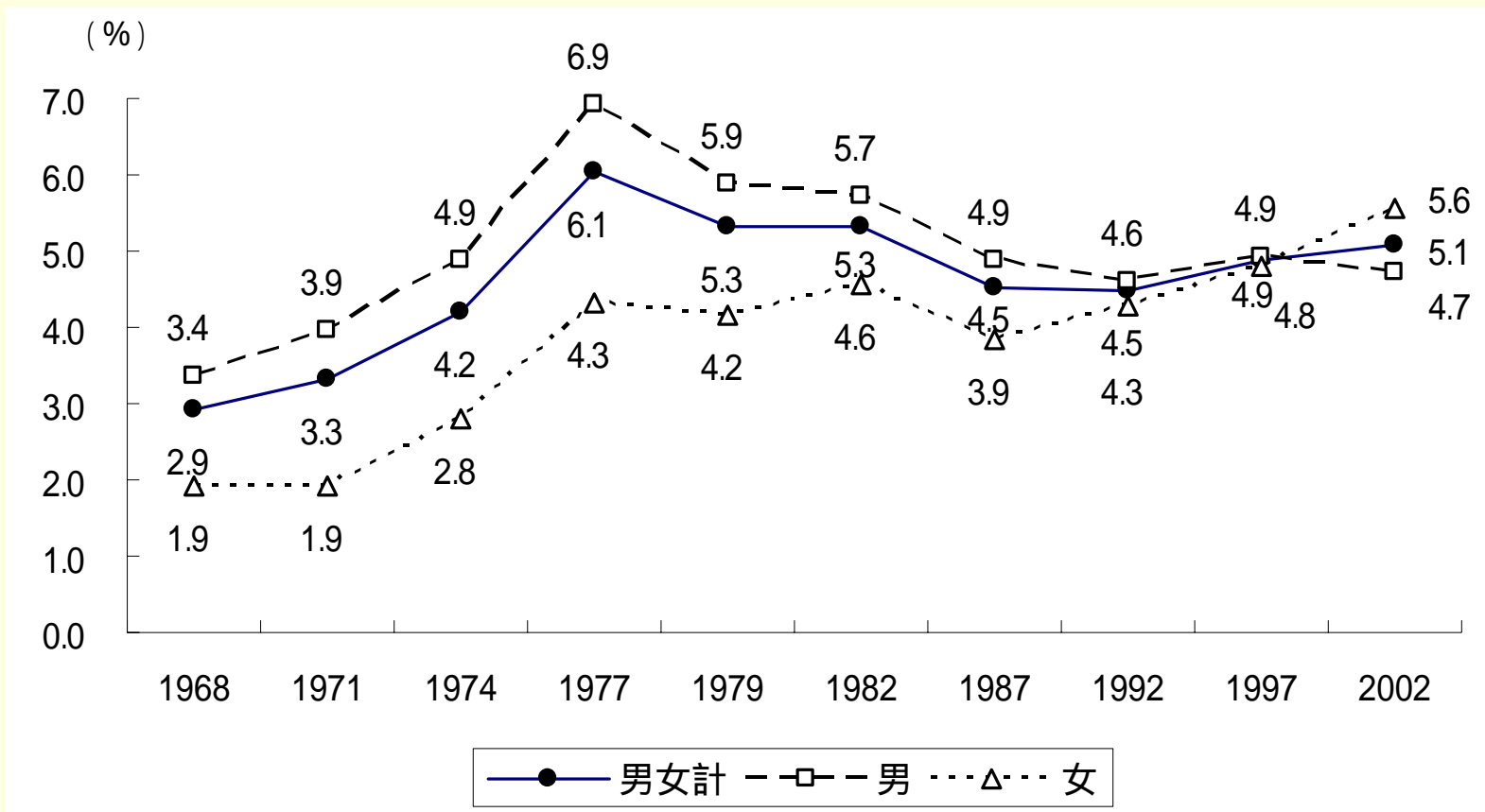
第6図 全雇用者に占める副業を持っている雇用者の割合（女）





# 追加就業希望のある雇用者の割合

## 第7図 追加就業希望のある雇用者の割合



# 就業構造基本調査のまとめ

---

- 副業を行っている雇用者は、全体としては減少傾向にある。
- 農林業を兼業している人の減少が大きく、副業の産業について農林業を除くと、副業者の割合は横ばい状態である。
- 追加就業希望のある雇用者は漸増傾向にある。

# ワーキングパーソン調査2000 (リクルートワークス研究所)

- 調査対象： 首都圏、関西、東海で就業している18～59歳の男女  
(正規社員・正規職員、契約社員・嘱託、派遣、パート・アルバイト)
- 調査の目的： 就業に関する実態と意識 (特に転職とキャリア開発)
- 回収サンプル数： 17,253名 (男性:11,862名、女性:5,391名)
- 調査時期： 2000年8月17日～10月17日
- 「あなたは現在副業をお持ちですか。また、今後副業を持ちたいと思いますか」
  - 「現在副業を持っている」 副業者
  - 「現在副業を持っていないが、今後は持ちたい」 副業希望者
  - 「現在副業を持っていないし、今後も持とうとは思っていない」 副業非希望者

\*ここでは、正規社員・正規職員の結果のみ紹介する

# 副業者と副業希望者の特徴

第1表 性別 副業の有無および希望

	副業者	副業希望者	副業非希望者	合計
男女計	4.5	26.0	69.5	100.0
男性	64.4 (4.0)	76.2 (26.9)	73.0 (69.1)	73.4 (100.0)
女性	35.6 (6.1)	23.8 (23.2)	27.0 (70.7)	26.6 (100.0)

## ■ 副業者 (vs 非副業者)

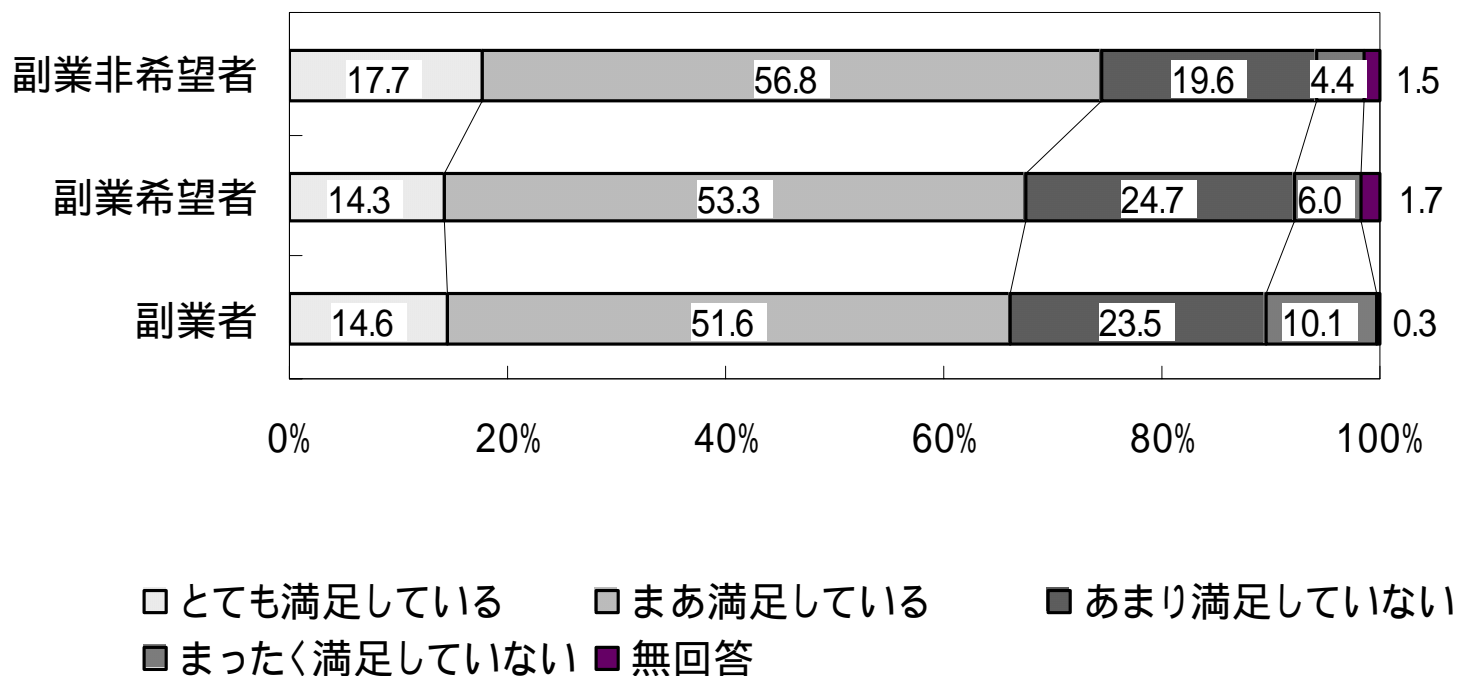
- 女性
- 年齢・高
- 従業員規模・小
- 労働時間・短
- 退職、フリーター経験・あり

## ■ 副業希望者 (vs 副業非希望者)

- 男性
- 学歴・高
- 従業員規模・大
- 退職、フリーター経験・あり

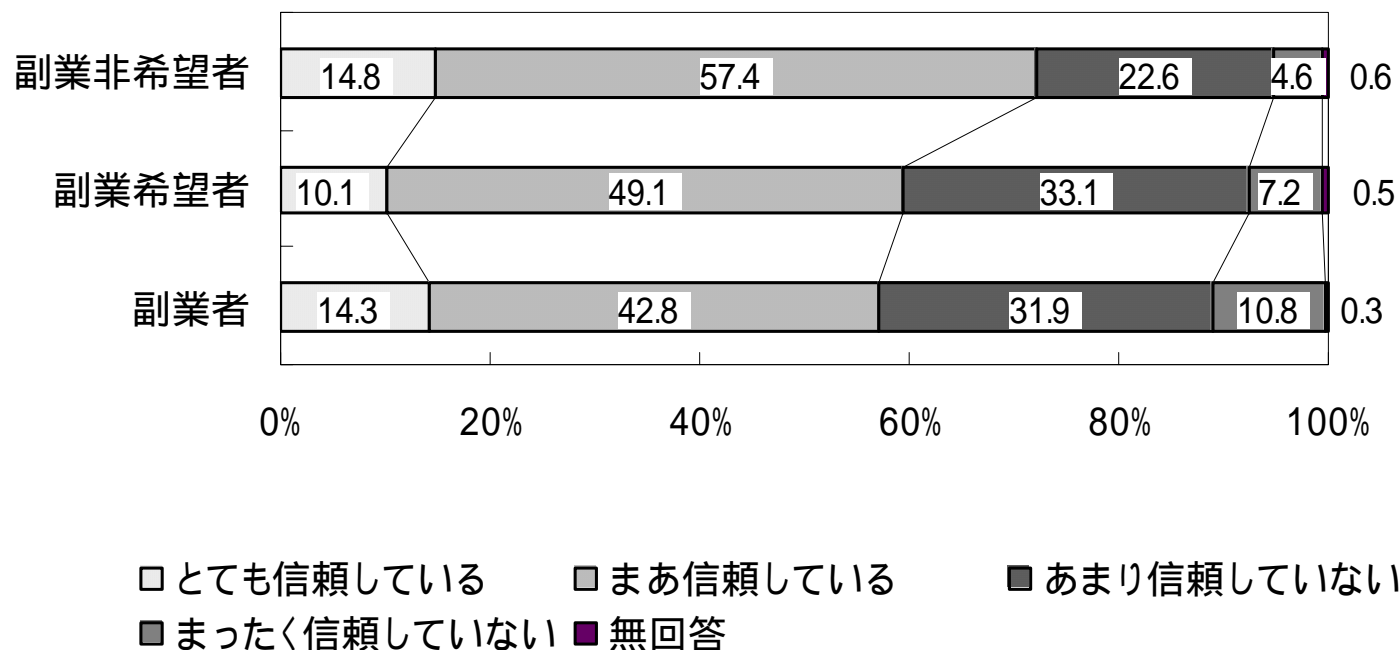
# 現在の働き方に対する満足度

第8図 現在の働き方に対する満足度（男女計）



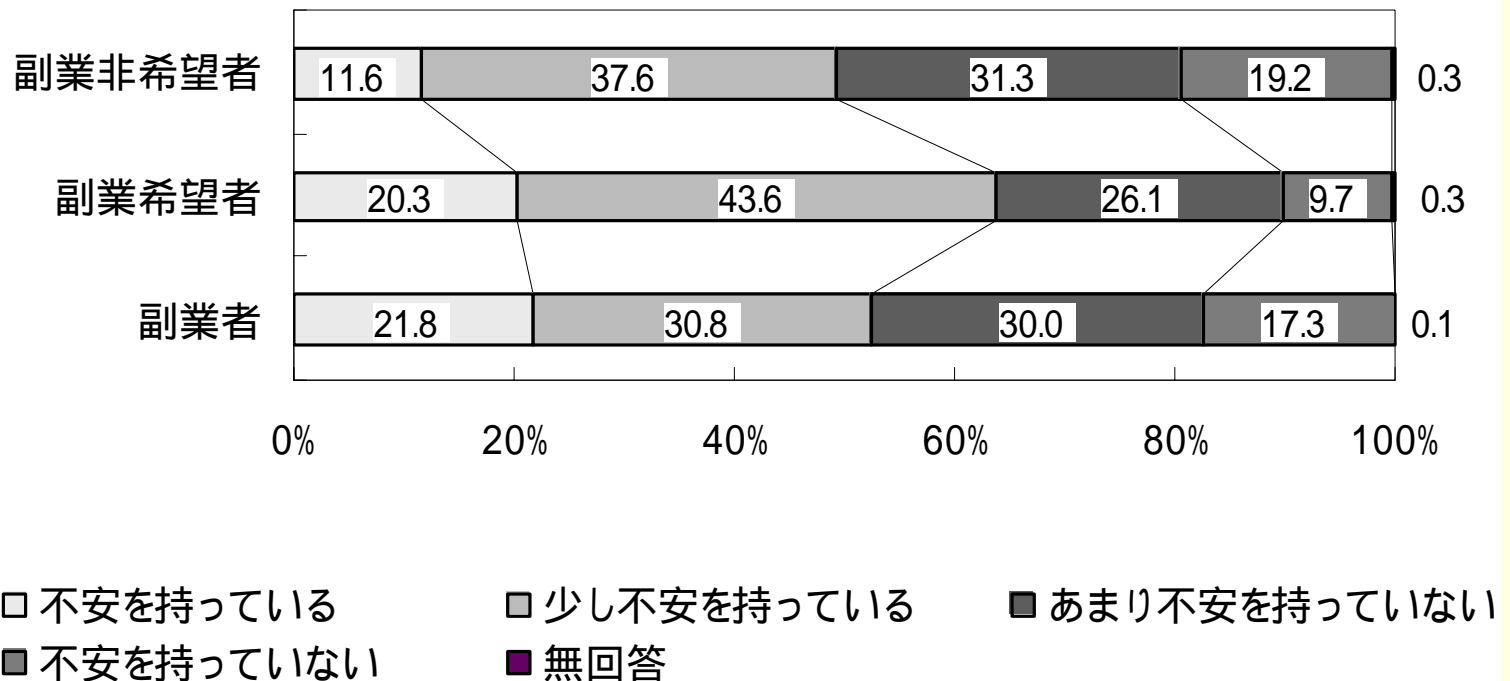
# 勤務先が「雇用を守る」ことへの信頼感

第9図 勤務先が「雇用を守る」ことへの信頼感（男女計）



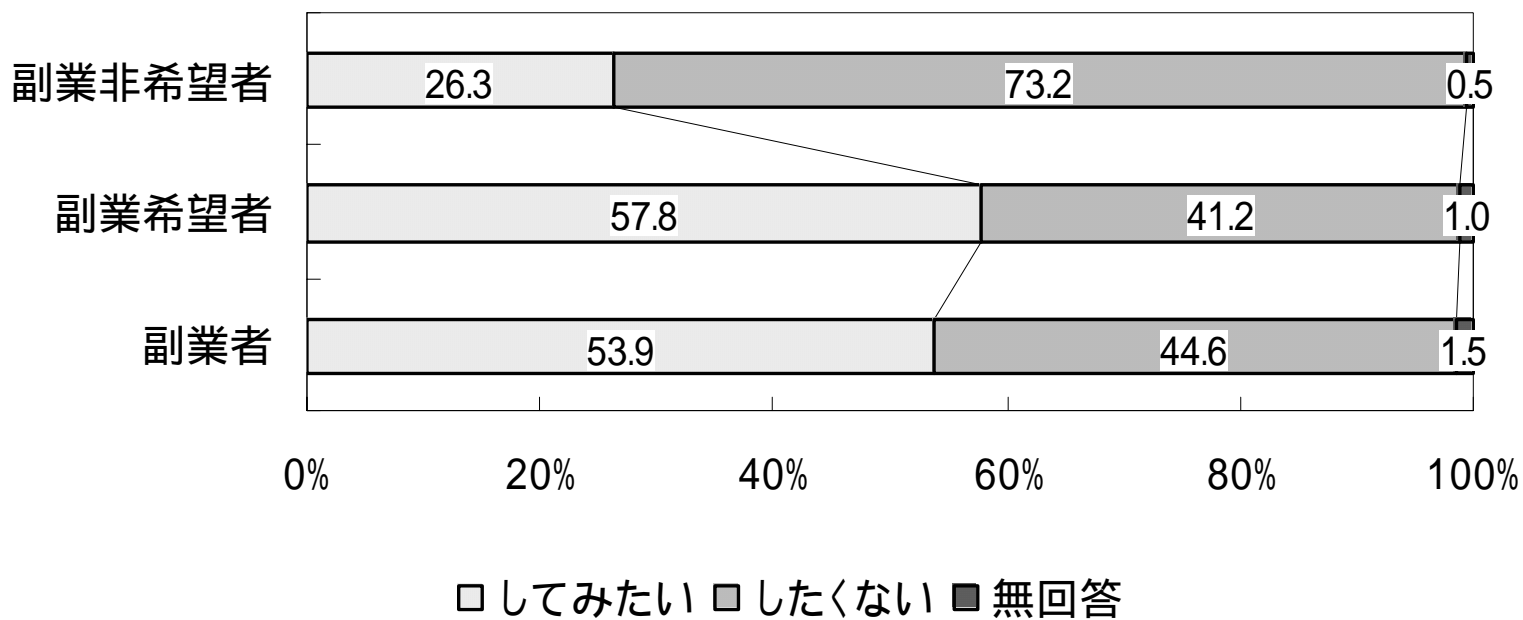
# 自分の雇用に対する不安

第10図 自分の雇用に対する不安（男女計）



# 独立して仕事をすることの希望

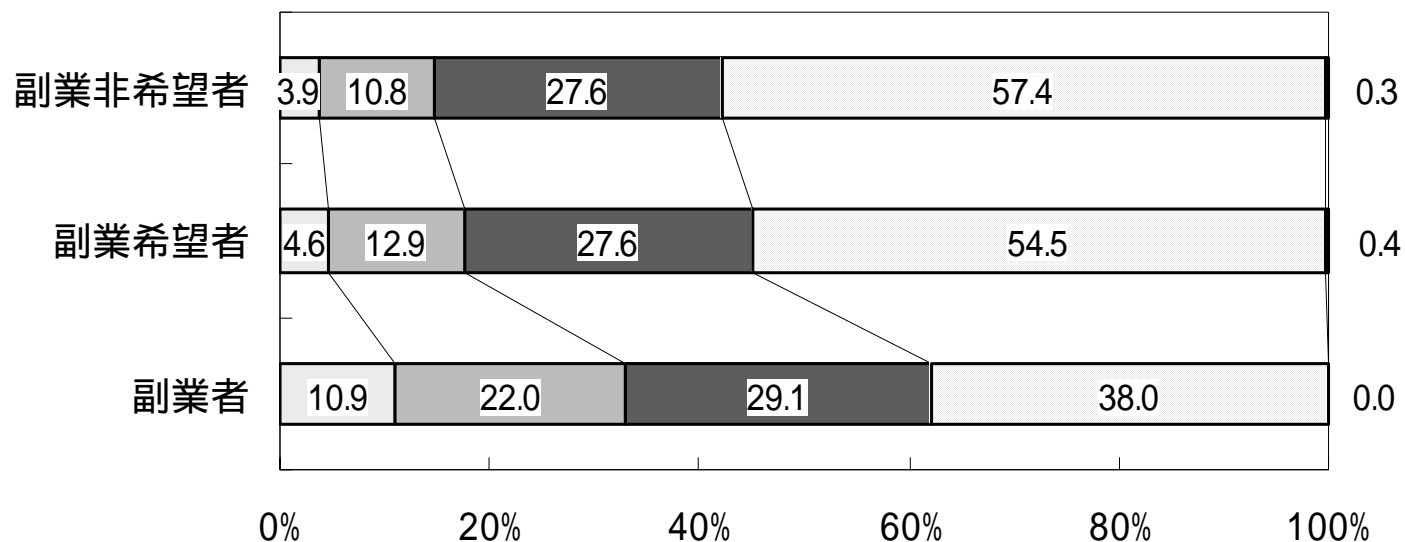
第11図 将来独立して仕事をしてみたいか（男女計）





# 独立して仕事をすることの希望の程度

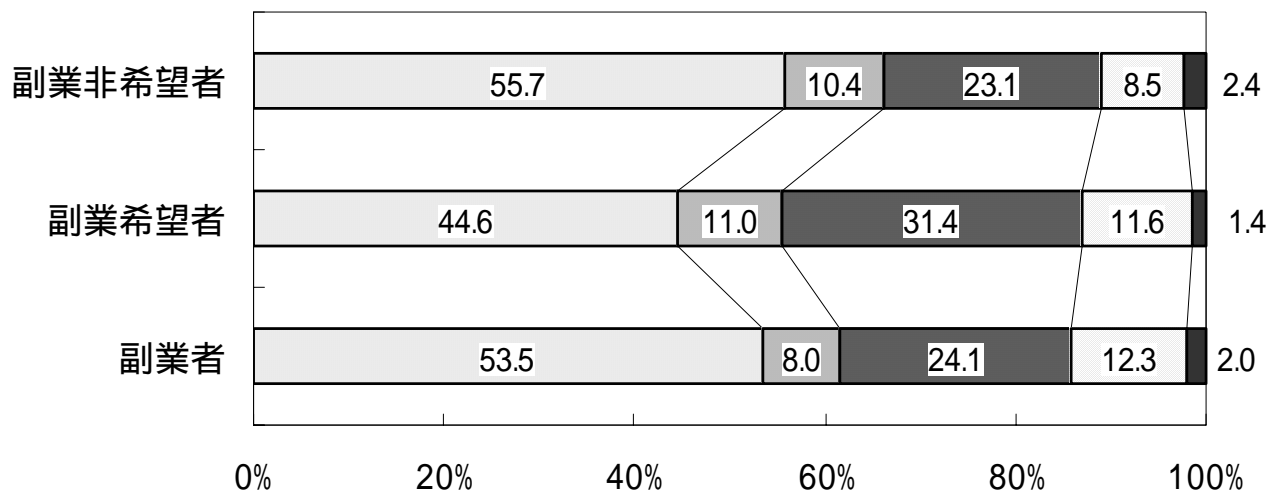
第12図 独立して仕事をすることを、どの程度考えているか  
(男女計)



- すぐにでも独立したい
- 近い将来独立したい
- いつになるかわからないが独立したい
- 関心はあるが、本当に独立するかどうかは未定
- 無回答

# 希望する働き方のイメージ

第13図 希望する働き方のイメージ（男女計）



- ひとつの仕事の続け専門性を高め、その高度な専門性で尊敬される
- 昇進し、自分の影響力を高める
- 過去の職務経験を活かしながら仕事の幅を広げる
- 次々と新分野に挑戦していく
- 無回答

# ワーキングパーソン調査2000のまとめ

---

- 副業者は、会社や仕事への不満が高く、自分の専門性を伸ばすことで、組織に依存せず、独立してやっついこうという傾向がある。
- 副業希望者は、会社や仕事への不満が高いが、雇用に対する不安が高く、独立意向はあまり高くない。組織への依存傾向が見られる。

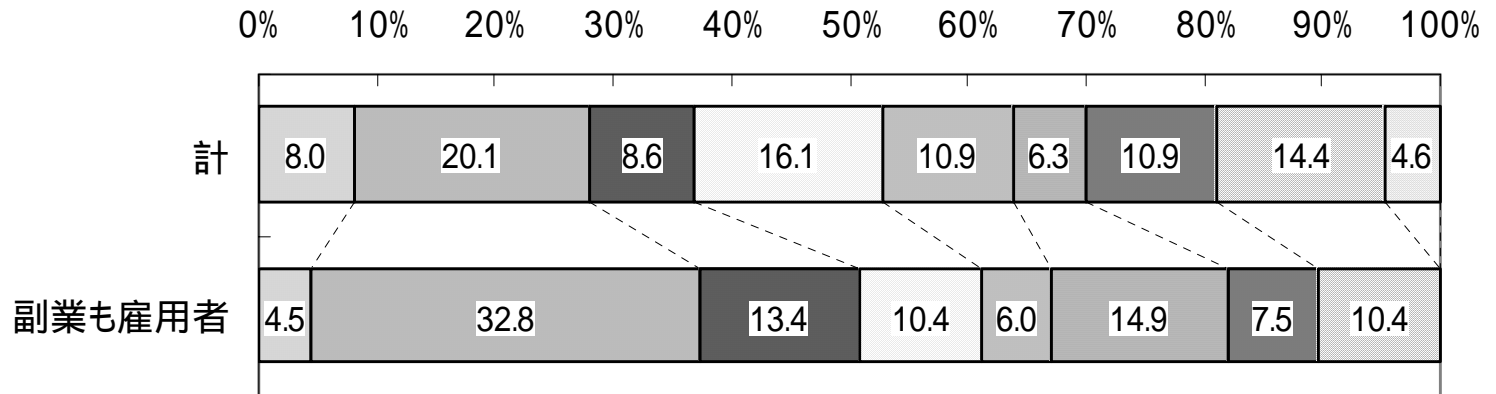
# 日本人の働き方総合調査 [未発表]

(労働政策研究・研修機構)

- 調査対象：20歳以上60歳未満の民間調査機関のモニター1万名(正社員、3,500名；非正社員、3,500名；個人自営業主及び家族従業者、3,000名)
- 調査実施時期：2005年8月下旬～9月上旬
- 回収率：正社員、82.7%；非正社員、80.6%；個人自営業主及び家族従業者、52.5%

# 副業を持つ理由

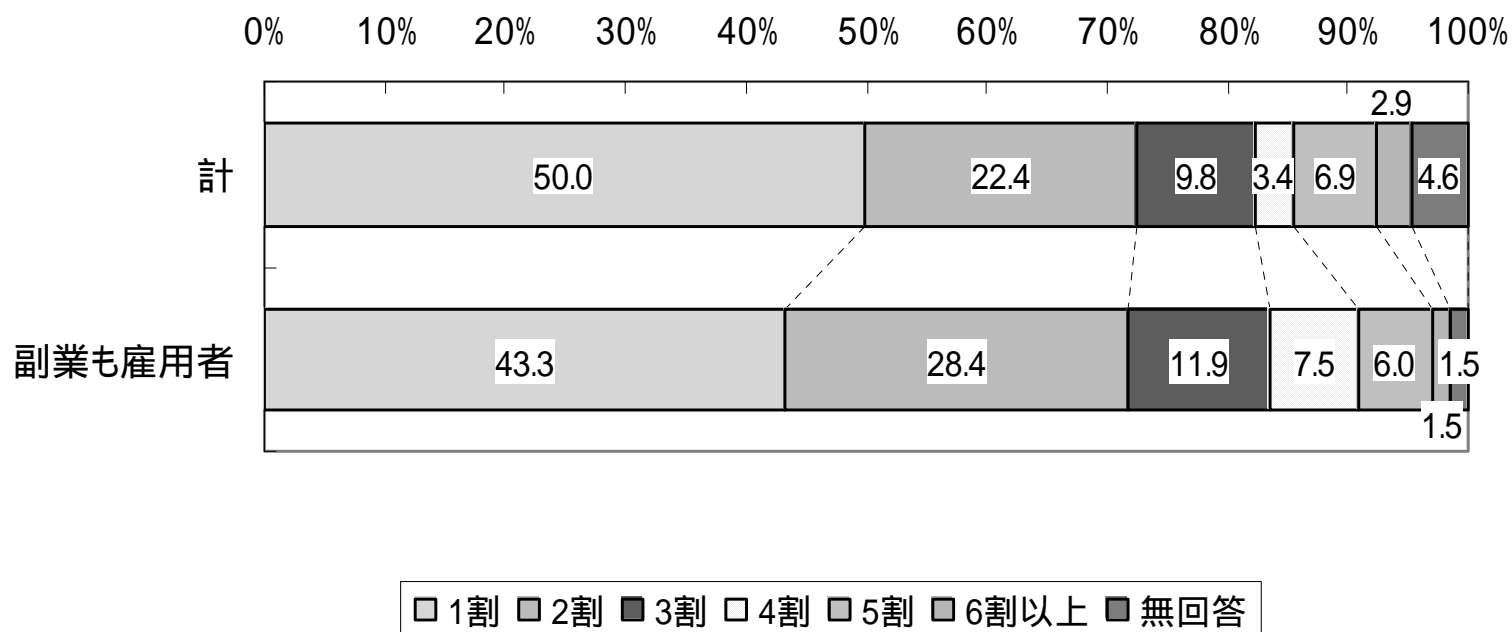
第14図 副業を持つ理由 (正社員のみ)



- もともとの本業
- 将来への備え
- その他
- 本業だけでは生活できない
- 本当に好きな仕事だから
- 特に理由はない
- 特別の出費に対応
- 本業の性格上当然
- 無回答

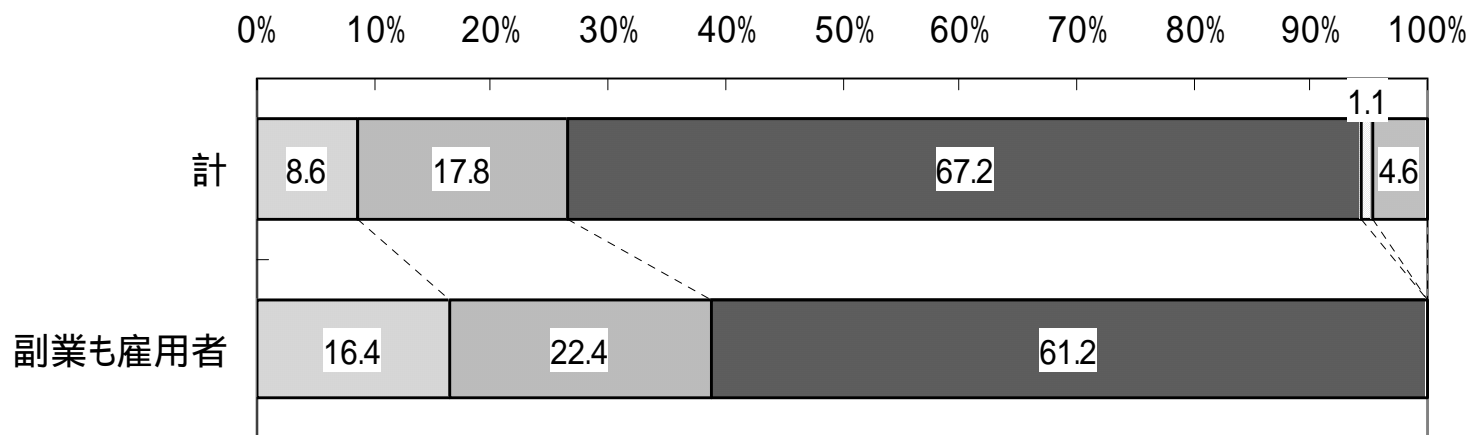
# 副業の収入のウェイト

第15図 副業収入の自己収入に占める割合（正社員のみ）



# 本業と副業との仕事の類似性

第16図 本業と副業との仕事の類似性 (正社員のみ)



□ ほぼ同じ □ 同じではないが知識や技能を活かせる ■ まったく異なる □ なんともいえない □ 無回答

# 付・副業の実態に関する主な記事

---

- 週刊ダイヤモンド(2002.10.12)「サラリーマン副業の研究」
  - ・インターネットによる調査; 副業者 = 96/800 (12.0%)、  
副業による収入は5万円未満が70%。
- 週刊ダイヤモンド(2003.9.6)「副業時代がやってきた」
  - ・インターネットによる調査; 副業者 = 171/1031 (16.6%)、  
副業による収入は5万円未満が55%。
- Yomiuri Weekly (2004.5.23)「夫も妻も週末副業時代」
  - …など